

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(平成 28 年1月解析分)

1 今月のトピックス

(1) インフルエンザの流行入りについて

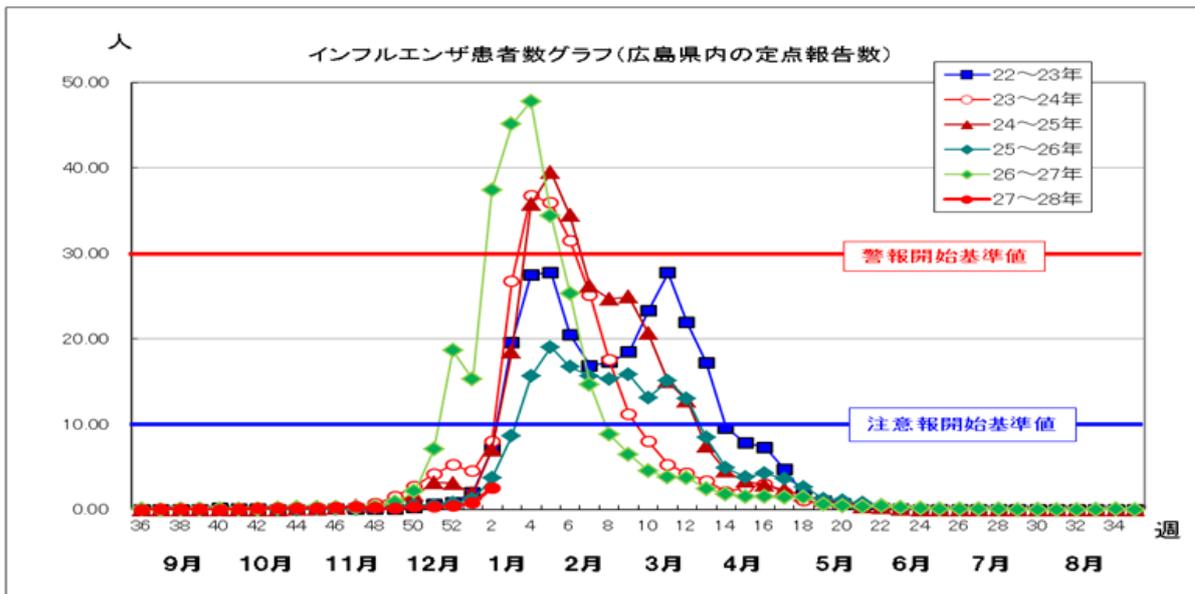
平成 28 年第 2 週 (1 月 11 日から 1 月 17 日) の定点医療機関からの報告患者数が、定点当たり 2.57 (報告患者数: 293 人) となり、流行の目安としている 1.0 を上回りました

インフルエンザが「流行シーズン」に入ったと考えられることから、平成 28 年 1 月 20 日 (水)、流行入りの広報を行いました。昨シーズンより 5 週間遅い流行の始まりとなりました。

現在、インフルエンザ様疾患の集団発生 (いわゆる「集団かぜ」) も報告されていますので、次の注意点を参考にしてください、引き続き感染予防、感染拡大防止の徹底をお願いします。

■ インフルエンザを予防するための注意点

- 外から帰ったときだけでなく、こまめに、流水と石けんで“手洗い”を励行しましょう。
- 睡眠をしっかりととり、偏食せずバランスの取れた食事を心がけ、体力をつけましょう。
- 咳エチケット
 - ・ 咳・くしゃみの症状がある場合は、人にうつさないためマスクを着用する。
 - ・ 咳・くしゃみの際には、ハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむけて 1 m 以上離れる。
 - ・ 鼻汁・痰などを含むティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。
- 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度 (50%~60%) を保ちましょう。
- 人が集まる場所への外出は避け、出かけるときは、マスクを着用しましょう。
- 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
特に基礎疾患 (腎臓疾患, 心臓疾患, 呼吸器疾患等) をお持ちの方や、妊婦, 高齢者, 乳幼児は、合併症を起こしたり、重症化する恐れがあるので注意しましょう。



なお、最新の発生状況等については、次のホームページを御覧ください。

○「インフルエンザの流行状況」(広島県感染症・疾病管理センター「ひろしまCDC」)

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html>

(2) 感染性胃腸炎の流行状況について(「感染性胃腸炎警報」発令中(平成 27 年 11 月 19 日発令))

感染性胃腸炎は、冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で、患者の便や吐物から人の手などを介して、人から人へ感染する場合や、二次汚染した食品から感染する場合などがあります。

定点医療機関からの報告患者数は、11月の3,707人から12月は2,612人と減少しましたが、ノロウイルスは、非常に感染力が強く、施設内等では感染が拡大し、多くの方が罹患する傾向があることから、健康被害を受けやすい高齢者施設、保育園や幼稚園などでは、感染予防及び流行拡大防止の徹底をお願いします。

なお、最新の発生状況等については、次のホームページを御覧ください。

○「感染性胃腸炎警報を発令しています」(広島県感染症・疾病管理センター「ひろしまCDC」)

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ichoen-ryuukou.html>

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成27年12月分(平成27年12月7日～平成28年1月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	199	0.43	2.63		11	ヘルパンギーナ	3	0.01	0.03	
2	RSウイルス感染症	436	1.52	1.60		12	流行性耳下腺炎	242	0.85	0.62	
3	咽頭結膜熱	141	0.49	0.86		13	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	675	2.36	1.86		14	流行性角結膜炎	77	1.01	0.84	
5	感染性胃腸炎	2,612	9.13	13.87		15	細菌性髄膜炎	3	0.04	0.01	
6	水痘	142	0.50	2.02		16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.03	
7	手足口病	44	0.15	0.40		17	マイコプラズマ肺炎	39	0.46	0.31	
8	伝染性紅斑	285	1.00	0.11		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	117	0.41	0.44		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	16	0.19	—	
10	百日咳	3	0.01	0.05							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成27年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	44	1.91	2.05		24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	78	3.71	4.50	
21	性器ヘルペスウイルス感染症	13	0.57	0.65		25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	0.24	1.23	
22	尖圭コンジローマ	9	0.39	0.60		26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.06	
23	淋菌感染症	17	0.74	0.84							

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 感染性胃腸炎(ロタウイルス)(0.05 → 0.19)
- 急減疾患 手足口病 (0.65 → 0.15)
- 百日咳 (0.04 → 0.01)
- ヘルパンギーナ (0.09 → 0.01)

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	34	結核(34)〔西部保健所(4),西部東保健所(2),東部保健所(9),北部保健所(2),広島市保健所(10),呉市保健所(1),福山市保健所(6)〕
三類	0	発生なし
四類	6	つつが虫病(3)〔西部保健所(1),広島市保健所(2)〕, レジオネラ症(3)〔東部保健所(2),福山市保健所(1)〕
五類全数	15	アメーバ赤痢(3)〔西部保健所(1),広島市保健所(2)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)〔西部保健所(1),広島市保健所(1)〕, クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔西部東保健所(1)〕, 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕,劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔東部保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)〕,侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕, 水痘(入院例)(1)〔福山市保健所(1)〕,梅毒(2)〔広島市保健所(2)〕